



日蓮宗 法音寺

# 法音

今月のご法話

御開山上人と日本福祉大学

令和7年  
8月号  
No.670

# 悦可衆心

よい教おしえを伝つたえよう

今日一日、

人に感謝しましう

今日一日、

人に親切にしましう

今日一日、

人を善に導きましう

## 月刊・法音 令和7年8月号 No.670 目次

【信仰の指針】願行がんぎょう 常に正しき願いを持ちましよう 1

【朝のこない夜はない】

御開山上人と日本福祉大学 山首 鈴木正修 2

◆講日のご案内 19

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20

◆季刊誌ひなた 22

◆仏教漫画『日蓮さま』・40身延の峰 23

◆慧光山定林寺 31

◆お寺の本棚 32

◆常寂光土への誘い(37) 34

◆のりのね体験 36

◆支院だより 38

◆福祉のひろば 53

○幸せのお手伝い 54

○昭徳会・「見る」・「触れる」・「聞く」好奇心を育む体験活動 56

○日本福祉大学・日本文化に親しむ「すなわークシヨプ」を運営しました 58

◆昭徳会・福祉セミナー 60

◆賛助員ご芳名 61

◆幸せの種まき／編集後記 64

◆連載まんが・ひまわり・151 あたりまえの宝もの 65

◆法音寺の社会福祉・教育事業 表紙写真・ヒマワリ

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁・18頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

表紙写真・ヒマワリ

信仰の指針

# 願行

がんぎょう

常に正しき願いを  
持ちましよう

日教五



ラベンダー



# 朝のこない夜はない

山首 鈴木正修



# 御開山上人と日本福祉大学

今回は、御開山上人と日本福祉大学の開学についてお話をします。御開山上人は20歳になる前から商才を発揮し、かなりの成功を収めておられました。それにもかかわらず、あまり楽しさを感じられず、心が満たされないという思いが募っていました。〃人生の真理や本当の幸福というのは別のところにあるのではないかと、深く悩まれていたのです。

そんな折、叔父の鈴木芳蔵さん（後の鈴木慈学上人）や祖父江つなさん（後の祖父江妙綱法尼）が、「名古屋にすばらしい女性（杉山辰子先生）がいっぱいやるから一度会ってみるといい。お会いすれば悩みは雲散霧消すると思うよ」と勧められました。



御開山上人は杉山先生を訪ね、お話を聞き、その教えがまさに求めている答えであると実感されました。そして、人生の喜びや本当の幸せは、徳を積み重ねることによってのみ得られるものであると確信されました。徳を積むとは、困っている人、苦しんでいる人、不遇な人を助けることです。

杉山先生の命で最初に取り組まれたのはハンセン病患者の救済でした。この活動は数年間続き、その後はライフワークとして孤児・貧児・戦争孤児・障がい児の養育と教育に力を注ぎました。御開山上人の人生のほとんどが、こうした子ども達の支援に費やされたと言っても過言ではありません。



《専門家養成の必要性和大学設立》

御開山上人は子ども達の養育を続けるうちに、専門家の必要性を痛感されました。専門知識のない者が子ども達を育てるよりも、専門的な知識を持った人が取り組むべきだと考えられたのです。その思いから大学設立を決意されました。

大学設立のもう一つの大きな理由として、杉山辰子先生への報恩の念がありました。杉山先生は、社会事業施設の経営とともに社会教育のための学校を設立しようと考えておられました。昭和7年6月初旬、杉山先生は東京に赴かれ、当時の陸軍大臣・荒木貞夫氏に面会し「名古屋市鍋屋上野町にある陸軍所有の土地を払い下げてもらえないか」と懇請されました。

しかし、この直後、6月17日頃から杉山先生は体調を



崩<sup>くず</sup>され、6月28日<sup>がつ にち</sup>にご遷<sup>せん</sup>化<sup>げ</sup>されました。そのため、この話は頓挫<sup>とんざ</sup>してしまいました。とはいえ、学校<sup>がっこう</sup>設立<sup>せつりつ</sup>は始祖<sup>しそ</sup>以来<sup>いらい</sup>の念願<sup>ねんがん</sup>事業<sup>じぎょう</sup>となったのです。

二祖<sup>にそ</sup>の村上<sup>むらかみ</sup>先生の時代<sup>せいだい</sup>になって昭和16年<sup>しょうわ ねん</sup>9月<sup>がつ</sup>、「中部社会教育学院<sup>ちゅうぶ しゃかいきょういくがくいん</sup>」が大乗修養団<sup>だいじょうしやうだん</sup>主催<sup>しゆさい</sup>により大乗会館<sup>だいじやうかいがん</sup>で開催<sup>かいさい</sup>されています。修業年限<sup>しゅうぎょうねんげん</sup>は一年<sup>ねん</sup>で毎週<sup>まいしゅう</sup>二回<sup>かい</sup>、火曜<sup>かよう</sup>と金曜<sup>きんよう</sup>の夜<sup>よる</sup>に授業<sup>じゅぎょう</sup>があり、「社会教育指導者<sup>しゃかいきょういくしどうしや</sup>としての識見<sup>しきけん</sup>を涵養<sup>かんよう</sup>し、技能<sup>ぎのう</sup>を修得<sup>しゅうとく</sup>する」ことが目的<sup>もくてき</sup>とされ、授業料<sup>じゅぎょうりやう</sup>は無料<sup>むりやう</sup>でした。しかし、これも戦争<sup>せんそう</sup>の激化<sup>げきか</sup>により、継続<sup>けいぞく</sup>できませんでした。

### 《杉山辰子先生<sup>すぎやまたつこ</sup>の理念<sup>りねん</sup>と活動<sup>かつどう</sup>》

大正5年<sup>たいしやう ねん</sup>、東京支部<sup>とうきやう しぶ</sup>が上野桜木町<sup>うえの さくらぎ ちやう</sup>に設立<sup>せつりつ</sup>されました。仏教感化救済会<sup>ぶつぎやうかん きききやうかい</sup>発足<sup>はつそく</sup>と同時に杉山先生<sup>すぎやませんせい</sup>は、一般信徒<sup>いっばんしんと</sup>の拡<sup>かく</sup>





大（だい）とともに、日本（にほん）の指導者層（しどうしゃそう）に働きかけることを意図（いど）されていきました。そこで東京支部（とうきょうしぶ）を拠点（きょてん）として、名士（めいし）の戸別訪問（こべつほうもん）を始めたのです。政治家（せいじか）・軍人（ぐんじん）・大学教授（だいがくきょうじゅ）・思想家（しやうか）といった社会（しゃかい）の中心（ちゆうしん）となる人物（じんぶつ）を訪問（ほうもん）、救済会（きゆうさいかい）の趣旨（しゆし）と事業内容（じぎやうないよう）を説明（せつめい）、この世（よ）の不幸（ふこう）は罪障（ざいしょう）によって起こり、妙法（みょうほう）の实践（じっせん）によってのみ、その不幸（ふこう）から逃（のが）れることができることなどを熱烈（ねつれつ）に説（と）いて回（まわ）られたのです。こうした努力（どりよく）によって、大正13年（たいしやうねん）には救済会（きゆうさいかい）の趣旨（しゆし）に賛同（さんどう）を得た名士（めいし）の数は、144人（にん）に上りました。そしてこれらの名士（めいし）から、書（しよ）の揮毫（きごう）が得（え）られることになったのです。そして、一（いっ）か年（ねん）継続（けいぞく）した信徒（しんと）の方（かた）には、これらの名士（めいし）の揮毫（きごう）が与（あた）えられるという特典（とくてん）を設（もつ）けられたのです。現在（げんざい）も法音寺（ほうおんじ）には玄洋社（げんやうしゃ）の頭山満（とうやまみつる）や二・二六事件（じけん）で暗殺（あんざつ）された高橋是清（たかはしこれきよ）の遺墨（いぼく）が保存（ほぞん）されています。



東京支部が、上野桜木町から武蔵小山に移転した頃、  
大阪にも堺市大浜公園前に支部が設けられました。杉山  
先生は大阪では小学校の校長先生を尋ね歩かれ、妙法の  
真理を説き、菩薩行の実践を勧められました。その結果、  
大阪ではいくつもの小学校で大講演会が開催され、ある  
小学校では例会が催される程でした。

これは余談ですが、当時、杉山先生は東京市長の後藤  
新平とも何度か会われていました。後藤新平は、台湾が  
日本の領地だった頃、台湾総督府民政長官として現在の  
台湾の繁栄の礎を築いた人物です。また、関東大震災後  
には帝都復興院総裁として荒廃した東京の再建に尽力し  
た偉大な指導者でもあります。

数年前、後藤新平のお孫さんである内山章子さんが突



然東京支院を訪ねてこれ、一緒に記念写真を撮りました。『法音』で後藤新平と台湾について書いた直後でしたので、不思議な縁を感じました。

また、杉山先生は小笠原長生海軍中将とも交流を持たれていました。小笠原中將は、東郷平八郎元帥の副官を務め、東郷元帥を顕彰するために日蓮宗東郷寺を建立し、東郷至誠会という修養団体を設立した人物です。

### 《戦中の試練と復興》

戦時中、大乘報恩会は疑似宗教の疑いをかけられ、特別高等警察の取り締まりを受けて、御開山上人が58日間拘留され、宗教活動を一切禁止されました。その頃、東京支部長が小笠原中將のもとに今後の相談に赴いたとこ



ろ、「東郷至誠会に加入してはどうか」と提案を受けました。これを機に、東京支部と支部長の出身の三河支部を中心とした信徒達は大乗報恩会を脱会して東郷至誠会へ加入し、戦後は新たな宗教法人を立ち上げました。

戦後、東京支部の土地と建物が残ったことが、経営難から御開山上人が引き受けられた名古屋養育院や知的障がい児施設・八事少年寮の運営に大きく寄与することになりました。ことに名古屋大学医学部精神神経科教授・杉田直樹博士が個人の資金で運営されていた八事少年寮は、杉田博士が定年退官を迎えて愛知県への移管を求められました。先例がないことと財政難を理由に愛知県はこれを断りました。困り果てた杉田博士は御開山上人に「頼れるのはあなたしかいません」と相談され、御開山上人は「わかりました」と即答されました。



御開山上人は東京支部の土地・建物や名古屋の遊休不動産を売却した資金をもとに、八事少年寮の建物の改修、隣地の購入、更に必要となった建物の新築、人員の確保などを行われました。この支援により、名古屋大学医学部精神神経科の関係者は深い恩義を感じ、後に中部社会事業短期大学設立の際、この関係者が協力を惜しまなかつたのです。

### 《大学設立の背景》

戦後になり昭和22年に児童福祉法、昭和26年に社会福祉事業法が制定され、福祉は個人の慈悲から、国や地方自治体の責任になりました。日本も福祉国家への道がようやく開けたのです。

しかし福祉に携わる人材が圧倒的に不足していました。





そのため、東京に日本社会事業短期大学、大阪には大阪社会事業短期大学が設立されました。東海地方でも、県や福祉事業に携わる人達の間から短期大学設立を望む声が高まっていました。この時、「よし、私がやりましょう」と福祉教育の松明を高々とかがげられたのが御開山上人だったのです。

この頃、厚生省では名古屋の民間の社会福祉事業家が独力で社会事業短期大学を創ろうとしていることに大きな関心を寄せ、1500万円の補助金を支出することを決定しました。ところが、この決定は直前になって覆されました。アメリカから再軍備の要請があり、自衛隊の前身である警察予備隊創設が決まり、防衛費のために社会保障費が削減されたからです。御開山上人にとってこれは大きな誤算でした。しかし、やめるわけにはいきま



せん。御開山上人は全国の信徒に寄付を訴えました。中には苦闘される御開山上人の姿を見るに堪えず「山を売ってきました」「田んぼを売ってきました」と言って、現金を包んだ大きな風呂敷包みを持ってこられる信徒の方があつたそうです。

また、文部省は恒久的な大学経営の経済的基盤を求めましたが、御開山上人は「法音寺護持会」を組織化して、これに答えられました。さらに、専門家のスカウトや図書館の書籍の購入も御開山上人自ら行われました。

スカウトされた著名な教育者として、ハーバード大学を出られた医療ソーシャルワーカーの第一人者・浅賀ふさ先生が挙げられます。厚生省に勤めておられた浅賀先生は御開山上人の人柄に感銘を受け、名古屋で教鞭をとることを決められました。



浅賀先生の言葉です。

「修学先生とのこの時の出逢いは、私のその後の生涯の出発点となり、私は二十一年間の名古屋の生活の中で多くの人間的成長を助けられる機会が与えられ、また、はかりしれない多くの方達から人間的ぬくもりを受けることのできた、意義深い出発点でございました。私を決断させた最も大きな要因は、愛の実践者としての修学先生の悠揚せまらぬ大きな御人柄に引きこまれたからであつたと思います。仏縁につながれた幸せな出逢いであつたと思います」

浅賀先生のご生涯は学園創立70周年記念ラジオドラマ「さいしよの一步步浅賀ふさ物語」としてCBCラジオで放送されました。



## 《建学の精神》

昭和27年12月、「学校法人法音寺学園設立認可」との電報が、身延山の大荒行堂で、再行入行中の御開山上人のもとに届きました。御開山上人はその場で大学の「建学の精神」を書き上げられました。この「建学の精神」は、命を削るような修行の中から生まれた、御開山上人の魂の言葉です。

明けて4月20日、中部社会事業短期大学の入学式が行われました。御開山上人は、朗々と「建学の精神」を読み上げられました。

「中部社会事業短期大学は、その根本精神として、高く清き宗教的信念に根をおろした教養が積まれる場所でありたいと願うのであります。社会事業の経営について深



い問題を研究すべきはもちろんでありますが、社会事業  
の専門的知識人をつくることよりも、永遠向上の世界観  
と、大慈大愛に生きる人生観を把握した健全な人格を育  
て、広い世界的視野を持ちつつ、社会事業を通じて、我  
が人類のために、自己を捧げることを惜しまぬ志の人を  
現代の社会に送り出したいのであります。今や新しい日  
本は、新しい文化的基盤を要求しております。それは、  
真・善・美・聖の精神文化、特に従来不振の状態にある  
聖—すなわち信仰を他にして、奈辺にも見出しがたいの  
であります。

この悩める時代の苦難に身をもって当たり、大慈悲心、  
大友愛心を身に負うて、社会の革新と進歩のために挺身  
する志の人を、この大学を中心として輩出させたいので  
あります。それは単なる学究ではなく、また、自己保身



栄達えいたつのみに汲々きゅうさゆうたる氣風きふうではなく、人類愛じんるいあいの精神せいしんに燃え  
て立ち上たあがる学風がくふうが、本大学ほんだいがくに満ちあふれたいものであ  
ります。

釈尊しやくそんのお言葉、『我が如ごとく等ひとしくして異なることなか  
らしめんと欲ほつす』この一偈げを、精神せいしん的根源てきこんげんとしたいの  
であります。これぞ本大学ほんだいがく学徒等がくとどうの、魂たましの奥底おくそこに鳴り響なひびか  
せるべき、真理追究しんりついきゆうの基調きちようでなければならぬのであり  
ます」

御開山ごかいさん上人しようにんの崇高そうこうな思おもいがひしひしと伝つたわる文章ぶんしょうです。

この後ご、中部社会事業短期大学ちゅうぶしゃかいじぎょうたんきだいがくは昭和32年4月、四年  
制大学せいだいがくに昇格しょうかくします。日本にほんで初めての社会福祉しゃかいふくしの四年制  
単科大学たんかだいがくの誕生たんじょうでした。御開山ごかいさん上人しようにんは、この大学だいがくを「日





本福祉大学」と命名されました。

結びに中部社会事業短期大学で学び、卒業式で御開山上人から学長賞を受け、後に職員として奉職された中村宗信さんの言葉です。

「今や多くの社会福祉の分野が公的責任として基礎づけられ、体制の整備が急がれている時代になりましたが、修学先生のお仕事はその先駆であり、整備なき、権利なき時代の国民への菩薩行であったことを思います。そして、そこには現代に受け継がれている社会福祉の実践倫理が示されています。思うに、全国に誇りうるすばらしい大学も、修学先生の捨て身の利他行がなかったならば、ここに生まれることはできませんでした」



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では  
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。  
是非講日にご参詣いただき  
教えを心にしみ込ませましょう。

◆ 今月の山首上人さまご親修日程

|      |         |      |          |
|------|---------|------|----------|
| 西春支院 | 8月2日(土) | 大阪支院 | 8月3日(日)  |
| 一宮支院 | 8月5日(火) | 上野支院 | 8月10日(日) |



# 有縁の支院・布教所に、ご自由にござ参詣ください

| 支院・布教所名 | 今月の講話日など   | 住所              | 電話番号           |
|---------|------------|-----------------|----------------|
| 大乗山泰明寺  | 5日・20日     | 名古屋市中村区名駅2-37-3 | ☎(052)581-2069 |
| 開基堂     | 10日        | 江南市寄木町天道18      | ☎(0587)53-5436 |
| 東京支院    | 3日・16日・23日 | 東京都練馬区谷原2-6-37  | ☎(03)3904-1251 |
| 静岡支院    | 2日・11日・22日 | 磐田市城之崎4-7-3     | ☎(0538)32-6625 |
| 豊川支院    | 4日・20日     | 豊川市中野川町1-26-3   | ☎(0533)86-4704 |
| 安城支院    | 3日・16日・28日 | 安城市新田町小山31-25   | ☎(0566)76-2504 |
| 明川支院    | 11日・23日    | 豊田市明川町堂ノ脇1-2    | ☎(0567)32-1825 |
| 佐屋支院    | 4日・11日・24日 | 愛西市大井町浦田面296    | ☎(0586)72-7208 |
| 一宮支院    | 5日・15日・25日 | 一宮市大江1-7-4      | ☎(0568)22-5813 |
| 西春支院    | 2日・12日・22日 | 北名古屋市九之坪東ノ川20   | ☎(058)245-2939 |
| 岐阜支院    | 4日・12日・24日 | 岐阜市切通7-15-22    | ☎(058)391-9733 |
| 笠松布教所   | 12日        | 岐阜県羽島郡笠松町八幡町23  | ☎(0584)78-4854 |
| 大垣支院    | 1日・11日・21日 | 大垣市宝和町5         | ☎(0575)22-0776 |
| 関支院     | 3日・10日・23日 | 関市西福野町2-15-11   | ☎(0575)23-3771 |
| 平賀支院    | 3日・25日     | 関市市平賀213-2      | ☎(0575)65-3933 |
| 郡上八幡支院  | 10日・24日    | 郡上市八幡町小野721-3   | ☎(059)352-3633 |
| 四日市支院   | 3日・13日・22日 | 四日市市赤堀2-4-7     | ☎(0595)21-0127 |
| 上野支院    | 1日・10日・21日 | 伊賀市上野向島町3475    |                |

☎ご連絡は本山事務局へ

|       |            |                   |                 |
|-------|------------|-------------------|-----------------|
| 京都支院  | 1日・9日・20日  | 京都市上京区北横町360      | ☎(075)231-3437  |
| 高槻支院  | 11日・21日    | 高槻市天神町1-9-2       | ☎(072)685-1003  |
| 大阪支院  | 3日・10日・23日 | 大阪市此花区西九条3-4-41   | ☎(06)6465-5051  |
| 和泉支院  | 2日・11日・23日 | 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404   | ☎(072)466-3112  |
| 神戸支院  | 9日・21日     | 神戸市兵庫区五宮19-17     | ☎(078)360-4884  |
| 淡路支院  | 5日・25日     | 南あわじ市神代国衙910      | ☎(0799)421-0175 |
| 岡山支院  | 3日・10日     | 岡山市南区若葉町1-16      | ☎(086)262-0818  |
| 高知布教所 | 5日         | 高知市上町5-5-39       | ☎(088)823-1983  |
| 福山支院  | 3日・17日     | 福山市西町3-19-5       | ☎(084)921-3078  |
| 三原支院  | 9日・24日     | 三原市皆実2-9-22       | ☎(0848)62-5087  |
| 安芸津支院 | 2日・16日・24日 | 東広島市安芸津町三津3765-3  | ☎(0846)45-4012  |
| 坂支院   | 10日        | 広島県安芸郡坂町坂東2-24-12 | ☎(082)885-1064  |
| 福岡支院  | 3日・15日・17日 | 福岡市早良区城西2-11-37   | ☎(092)821-7975  |
| 壱岐布教所 | 9日・23日     | 壱岐市石田町池田東触1112    | ☎(0920)44-5445  |
| 筑後布教所 | 10日・24日    | 筑後市大字西牟田5954-1    | ☎(0942)53-7273  |
| 天草布教所 | 1日         | 上天草市大矢野町維和1502-1  | ☎(0964)58-0742  |
| 田川支院  | 10日・24日    | 田川市春日町7-30        | ☎(0947)42-1819  |
| 名古屋地区 | 7日・17日・27日 | 名古屋市昭和区駒方町3-3     | ☎(052)831-7135  |
| 瀬戸布教所 | 9日・19日・30日 | 瀬戸市東本町2-20        | ☎(0561)85-6860  |
| 亀岡布教所 | 24日        | 亀岡市篠町篠牧田73-1      | ☎(0771)25-7807  |

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)



# ひなた

wish your heart full of happiness.

季刊誌

年4回

1月・4月・7月・10月

発行

本当の生き甲斐とは



## 目次

- ・良いことを習慣に
- ・読んで！ひなたで
- ・言葉のチカラ
- ・ちょっと幸せに
- ・脳トレクイズ
- ・花言葉

## 目次

- ・良い縁を作っている
- ・歌ある大賞
- ・言葉のチカラ
- ・読んで！ひなたで
- ・ちょっと幸せに
- ・脳トレクイズ
- ・花言葉

## ひなた

wish your heart full of happiness.

2025 summer

## 目次

- ・本当の生き甲斐とは
- ・みんなの笑顔
- ・言葉のチカラ
- ・読んで！ひなたで
- ・ちょっと幸せに
- ・かくれんぼクイズ
- ・花言葉



縁ある人に  
ぜひさし上げてください

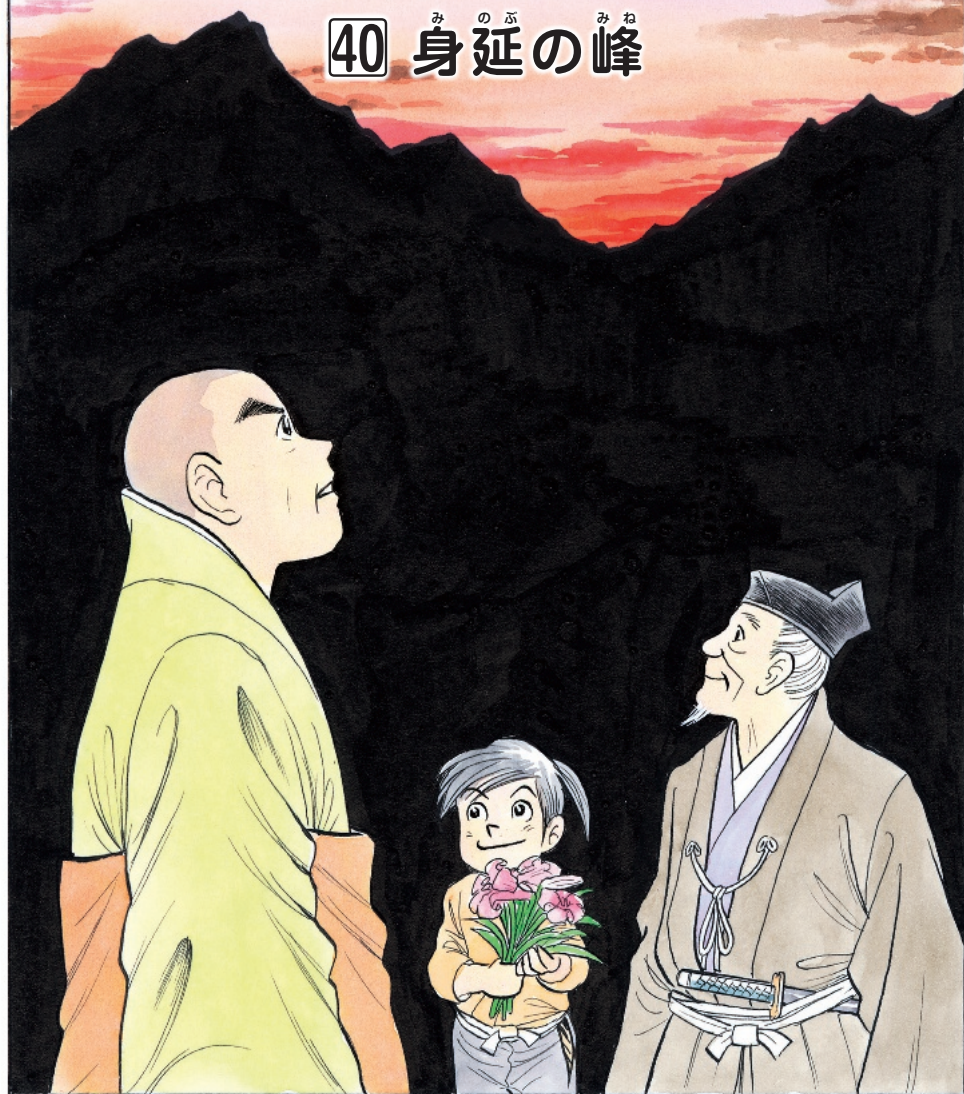


本誌の発行にあたっては、多くの方の協力とご支援をいただいております。このたびは、さらに多くの方の協力とご支援をいただき、本誌の発行をさせていただきます。ご協力いただき、誠にありがとうございます。



# に ち れ ん 日蓮さま

40 み の ぶ み ね  
身延の峰











今の日本の国は災難であふれかえっています

地震 干ばつ 飢饉 疫病  
戦い さらに外国からの侵略

仏さまはいつも私ども人間を見守ってください

たくさんの神々は正しい仏の教えを信じている者としっかりと守ると仏さまにお誓いになっ

しかし正しい教えを信じなかったりあやまった教えばかり信じたりしている  
神仏は守護しないばかりかその国を捨てて逃げてしまわれるのです

この日本の国から神仏がいなくなったらどうなるでしょう

日本の国が滅びるのです

日向さまはお師匠さまのご講義をいつも書き留めていらっしゃるね

お師匠さまのお言葉はだれよりも深くわかりやすくお話しくださいます

今ここにいます私達がうかがうだけでは勿体ないことです

お師匠さまのお心が後の世の人々にも伝わり多くの人が法華経を信仰するようになればよいと思い記録しているのです

どっか皆さん  
正しい仏の教えを信じ  
実行しましょう

そんな人達でこの国を  
うめつくして仏の国と  
なれば 滅びることは  
決してありません

法華経がどんなに  
すばらしいお経であっても  
それを実行する人が  
存在しなければ  
何の意味もないのです

今の今から法華経を信じ  
実行しましょう

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

身延

お上人さまの  
お帰りだよ

お上人さま  
庵がようやく  
完成いたしました

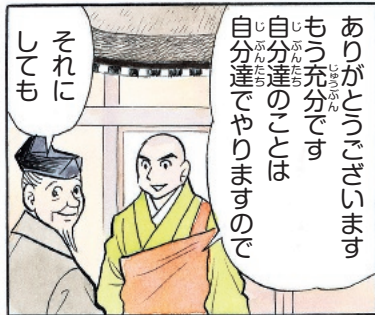
いろいろお心くぼり  
まことに恐縮です

ご不自由なことが  
あったらなんなりと  
おっしゃってください  
味噌 野菜  
なんでも村人に  
運ばせますから





日蓮さまの  
お弟子さん達は  
本当によく働き  
ますね



ありがとうございます  
もう充分です  
自分達のは  
自分達でやりますので

それに  
しても



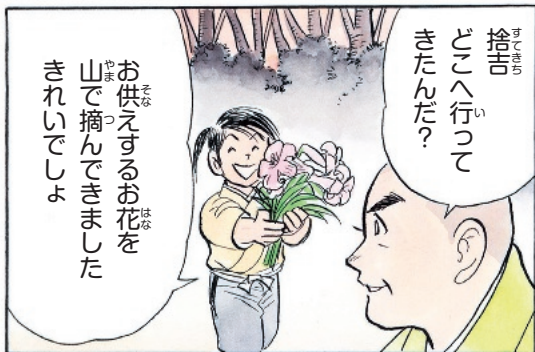
なるほど

薪を集め 水を汲み  
炊事 風呂 火を汲み  
仏前に花 仏灯を灯し  
座を清め 庭を掃く  
これを仏門の八役と  
申しまして これも  
私達の修行なのです



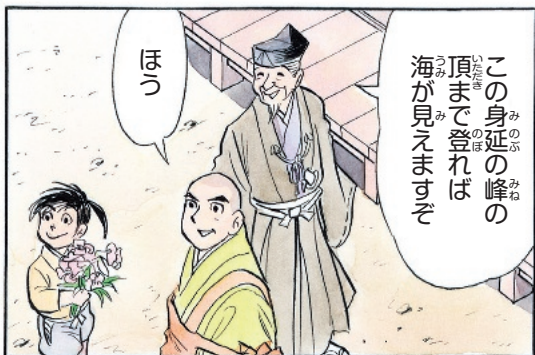
明日登って  
みるか

はい



捨吉  
どこへ行って  
きたんだ?

お供えするお花を  
山で摘んできました  
きれいでしょ

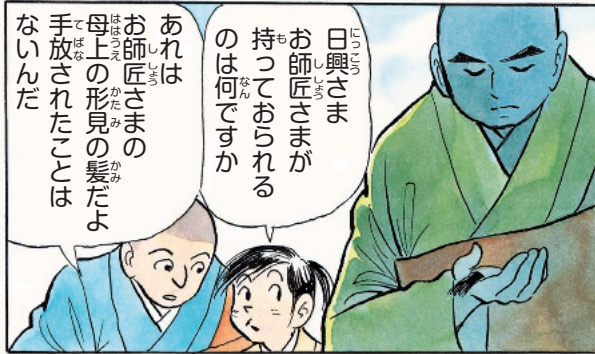


この身延の峰の  
頂まで登れば  
海が見えますぞ

ほう









## 慧光山定林寺

日蓮聖人が身延山で過した時代、布教のため日朗と日向を従えて旅に出られた際、八代の里に立ち寄ります。その晩、鬼火（火の玉）が見えたそうです。翌朝、村人に仔細を尋ねると、源平富士川の合戦の後、戦に敗れてこの地に逃げ、絶命した平家の「白菊御前」というお姫さまとそのお腹にいた二子の迷える魂であるという話でした。日蓮聖人は安産の札を供え、法華経を読んで霊を鎮めました。その夜、日蓮聖人の夢枕にこの鎮めた霊が現れ、「お陰さまで成仏することができました。以後、私はこの地にとどまって女性と子どもを守る神になろうと思います」と告げられたそうです。その言葉を大いに喜ばれた日蓮聖人は、その霊に「二子鬼子母神」という名を授けられました。この話に感激した、郷土・早内左衛門は自ら日蓮聖人の弟子となって「慧光坊日林」の名を授かり、自らの屋敷を寺にしました。



慧光山定林寺 山梨県笛吹市

# お寺の本棚

妙とは、よみがえる

『大白牛車(四)』



まず相手の気性をよく見て、お互いが心を打ち明け合うほどの間柄となり、こちらの言葉を聞いてもらえるような状態にしなければならぬ。その上で、趣味のことなどから気を引き、言い方、言う時期を考え、手紙を利用したり、別れの挨拶をするときなど自分の失敗や欠点を話して、直接指摘しなくても相手の人が思い当たるようにしたり、相手の良いところをほめ、気分を良くしておいて、ちやうどのどがかわいて水を求めるかのように、こちらの言い分を自然に受け入れさせ、欠点を正していくのが本当の意見である」（「葉隠」より）

武士道でもやはり、人はほめて導きなさい、と教えています。誰でも人にほめられ、人から認められたいという心を持っているからです。人にけなされ、馬鹿にされるために生きている人はこの世に一人もいません。どんな人でもほめられればうれしいものです。自然に心も開くに違いありません。相手の人が良い方に向かい、結果として自分も良くなっていくのが、本当の慈悲であります。





御前さま（御開山上人）の言われる慈悲は「大慈悲」であります。大のついた慈悲は、差別のない慈悲であります。差別がないとは、誰に対しても、ということですよ。自分の好きな人や、気の合う人には誰にでもできます。しかし、それは大慈悲とは言いません。嫌な人、憎い人、大嫌いな人に対しても慈悲の心で接していくことを「大慈悲」と言うのです。「妙法の妙を實行する」とはそのことです。

妙法の妙が「よみがえる」と説かれるわけもそこにあります。自分の好き嫌いだけで行うならば、少しも進歩はありません。しかし、どのような人にも慈悲の心、温かい心で接していくことができれば、おのずから、今までとは違った世界が現れてきます。自分の心が変わるのですから、そうなります。人間は、自分の心でいろいろな世界を作り出しているのです。苦しみも喜びも、すべて自分の心で作りに出した結果です。法華經を信仰する人は、相手のことを言う前に、まず自分を変えていかなければなりません。自分が変われば、この世界は因縁の世界でありますから、相手も必ず変わります。すると、今までできなかったことができるようになります。今まで思いもしなかったことが、現実になります。それが「よみがえる」ということです。法華經が、病者を健康者に、貧者を富者とする經法と言われる由縁が、ここにあります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

# 常寂光土への誘い (37)

無量義經 十功德品第三

此語このことばを作なし已おわりし、爾その時ときに三千大千世界だいせかい六種しゅに震動しんどうし、上空じようくうの中なかより復また種種しゆじゆの天華てんげ・天てん  
優鉢羅華うぱつらけ・鉢曇摩華はつどんまけ・拘物頭華くもつづけ・分陀利華ふんだりけを雨ふらし、又無数種種またむしゆしゆじゆの天香てんかう・天衣てんね・天瓔珞てんようらく・  
天無価てんむげの宝たからを雨ふらして、上空じようくうの中なかより旋轉せんてんして来下らいげし、仏ほとけ及び諸もろの菩薩ぼさつ・声聞しやうもん・大衆だいしゆに供く  
養ようす。

大莊嚴菩薩達だいじやうこんぼさつの言葉が終はつつたその時、三千大千世界が六種に震動しました。空からは、種々の蓮の華が雨あめつてきました。また、天の香・天の衣・天の瓔珞ようらく、そして、最も尊い宝も雨あめつてきました。天地の間  
のあらゆるものが世尊の慈恩に感謝し、帰依することゝ形に現したもので、それが上空から旋轉せんてんして雨あめつてきて、仏さま及び諸々の菩薩・声聞・大衆にご供養申し上げたのであります。

天厨てんちゆう・天鉢器てんぱつきに天百味てんひやくみ充滿みじゅうまん盈溢えいいつせる、色しきを見香みかうを聞かぐに自然じねんに飽足ほうそくす。天幢てんどう・天旛てんぱん・天軒てんこん  
蓋がい・天妙樂具てんみょうらくぐ処しよに安置あんちし、天の伎樂ぎがくを作なして仏ほとけを歌歎かたんす。又復六種またまたしゆに東方恒河沙等とうほうかうがしやとうの諸しよ  
仏ぶつの世界せかいを震動しんどうす。亦天華またてんげ・天香てんかう・天衣てんね・天瓔珞てんようらく・天無価てんむげの宝たからを雨ふらし、天厨てんちゆう・天鉢器てんぱつき・

天百味、色を見香を聞くに自然に飽足す。天幢・天幡・天軒蓋・天妙樂具処に安置し、  
天の伎樂を作して彼の仏及び諸の菩薩・声聞・大衆を歌歎す。南西北方・四維・上下も亦  
復是の如し。

天厨・天鉢器にはおいしい食べ物がいっぱい入っています。その色を見、香りを嗅ぐだけでも自然に満  
足を覚えます。また、幢幡・軒蓋という美しい物も天界からご供養され、妙なる音楽を奏するための琴や  
笛等も処々に置かれてあり、天の伎樂を奏し、仏さまをおほめ申しています。また、世界が六種に震動し  
て、東方の恒河沙の世界までが皆動じて、天華・天香・天衣・天瓔珞・天無価の宝を雨らせ、天厨・天鉢  
器に盛られた、天百味といった、色を見、香を嗅ぐだけで自然に満足できる物も、また、幢幡や軒蓋も天  
界から雨ってきます。音楽を奏する道具も処々に置いてあります。天の伎樂を奏して仏さまにご供養申し  
上げるのです。それは東の方ばかりではなく、南西北方四維上下、四方八方皆同じでありました。

一人の仏さまのお説きになったみ教えが、十方世界のすべての仏さまのご精神と一致し、その仏さま方  
がともに喜ばれるということを実現しているのです。また、一人の仏さまがお説きになったみ教えを、すべ  
ての仏さまが護っておられるということでもあります。仏さまのみ教えを説くならば、あらゆる仏さまが  
護ってくださることを象徴しているのです。

繰り返しのことを説かれるのは、「仏の教えをしっかりと自分の心に信じ、身に行って大きな力としな  
さい」とおっしゃられるのであります。

# 福祉の ひろば





# 幸せのお手伝い

生活を守るための

視点

## 意識を変えた

### 忘れられない出会い

私は特別養護老人ホームの事務員として、日々利用者の方々とふれあいを通して、多くのことを学ばせていただいています。その中でも、特に印象に残っているのは、遠く他県から入所された女性Aさんとの出会いでした。

既に数年前の出来事のため記憶が曖昧なところもありますが、Aさんは普段は穏やかに過ごされていた方でしたが、その笑顔の裏には、想像もできないような過去があったことを後に知ること

になります。伝え聞くとところによると、Aさんは長年にわたり、ご自身の夫からDV（家庭内暴力）を受けていた疑いがあったそうです。

ある日、Aさんの夫から電話があり、Aさんを退所させて自宅へ戻したいとのことでした。Aさんの入所手続きについては、息子さんや娘さんが動かれており、入所後の身元引受人もそうだったため、突然の夫の登場に驚きました。その後、夫は弁護士を伴い、Aさんを連れ出すために施設を訪れました。その際、施設長をはじめとする上役の方々が、冷静かつ毅然とした態度で夫の要求を拒否する場面に立ち会いました。弁護士を相手に

しながらも、施設長はAさんの人権を守り、安全な生活を保障するという強い意志を示していました。その姿を見て、私は深い感動を覚えしました。

その後もAさんの息子さんと娘さんと協力し、Aさんの安寧な生活を守るために立ち廻られました。この出来事が、私の福祉の仕事に対する意識を大きく変えるきっかけになりました。単に利用者の方々の生活をサポートするだけでなく、虐待などから利用者の方々を守るという責任の重大さを痛感したのです。

Aさんとの出会いは、今も私にとって忘れられない経験として刻まれています。この一連の経験を通して、私は福祉の仕事に携わる者として、常に利用者の方々の視点に立つて考え、行動することの大切さを学びました。

その後、Aさんは老衰で他界されましたが、最

後まで穏やかに過ごされました。その穏やかな生活を守るために、私達の勤めがあるのだと思います。

小原安立 事務員 山本 達



## 「見る」・「触れる」・「聞く」好奇心を育む体験活動



写真提供・昭徳会

### 駒方保育園 ～障がい者支援施設「小原寮」とのコラボ企画～

駒方保育園では、好奇心を育む保育として、子ども達にさまざまな体験活動を行っています。「見る」「触れる」「聞く」といった日々のたくさんさんの体験の中で、子ども達の世界が広がっていきまします。一方、同法人の障がい者支援施設「小原寮」には、地域にある「間伐材」を再利用し、次の姿に生まれ変わらせる「間伐材活用プロジェクト」と、利用者さんと地域の皆さんと一緒にお米作りに取り組む「農福連携推進プロジェクト」があり、2つのプロジェクトチームの協力を得て、子ども達と貴重な体験をさせていただきました。

「間伐材活用プロジェクト」は、20代の若い職員を中心に意欲的に活動を繰り広げ、各地でイベントを開催しています。6月には保育園に来ていただき、子ども達が薪割体験とキーホルダーづくりをしました。間伐材に触れる経験も初めての子ども達。「キンドリンググラッカー」という、薪割専用の道具を使用して、ひとりではハンマーを使っても木を叩いて割ったり、太い木は職員に教えてもらいながら、大きな機械のレバーを引いて薪割り

を体験しました。木の種類により、柔らかい木や硬い木があり、苦戦する場合もありましたが、ハンマーでの薪割りのコツをつかむと、何度も挑戦し、ひとりでやり遂げた満足感を十分に味わうことができました。

また、キーホルダーづくりでは、木のおいや自然のぬくもりを感じながら、マジックで思い思いの絵を描いて完成させていきました。世界で一つだけの素敵な作品ができあがり、大喜びの子ども達。友達同士で作ったものを見せ合い、大切に家に持ち帰りました。



食育活動として、保育園ではバケツで育てる「バケツ稲（米作り）」にも挑戦中。普段、あたりまえのように食卓に並べられているお米がどのようにしてできるのか、子ども達と過程を見ながら収穫をめざして頑張っています。その成長を私達と一緒に楽しみにしてくださっている保護者の方も多く、6月には、農福連携推進プロジェクトチームの田植えに親子で参加させていただきました。「田植え」というよりも、広い田んぼの中で走り回って、泥の感触を楽しんだり、おたまじゃくしやアメンボなどの生き物を捕まえるのに夢中の子ども達でしたが、園でのどろんこ遊びとは一味違う、自然とのふれあいを親子で楽しむ貴重な体験となりました。

今回、分野を越えてつながることで、たくさん体験をすることができました。昭徳会では各施設がさまざまな取り組みを行っておりますが、これからもつながりを大切にして、子ども達の世界を広げていきたいと思っています。

駒方保育園 園長 田中 美枝子



# 日本文化に親しむ「すなごワークショップ」を運営しました

～日本福祉大学 教育・心理学部松下ゼミ～



子どもたちの体験をサポートする松下ゼミの学生

2025年6月28日（土）、半田市の新美南吉記念館にて、「ゴンのふるさとネットワーク」主催によるワークショップが開催されました。このワークショップ内で、本学教育・心理学部学校教育学科の松下ゼミナールの松下明生教授と7名の学生が、「すなごワークショップ」の運営を担当しました。「砂子<sup>すなご</sup>」とは、金箔や銀箔を細かく砕いた粉のことで、特に蒔絵や襷絵などの装飾に使われる材料を指します。当日は、13時と15時からの2回にわたり、地域の子どもから大人まで約30名が参加され、日本の伝統技法である砂子に実際にふれる貴重な体験を楽しめました。

冒頭、松下教授は「砂子の技術は日本が誇る伝統技術の一つで、蒔絵や襷絵などさまざまな場面で使われています。世界的にも高く評価されている国宝『源氏物語絵巻』にも用いられている技法です。今日は日本のすばらしい文化を体験し、ぜひ多くの方に伝

えていってください」と参加者にメッセージを送りました。ワークショップでは、ゼミ生による童謡「たなばたさま」の歌詞の解説も行われ、五色の短冊の色の意味についても紹介。参加者は全員で合唱を楽しみました。

松下ゼミには小学校の教員を志す学生が多く所属しており、この日も学生達が子ども達の体験を丁寧にサポートしました。参加したお子さんから「金箔や銀箔を貼るのがむずかしかったけど、大学生のお兄さんお姉さんがやさしく教えてくれて上手にできた。学校の先生にも体験したことを伝えたい」といった声が寄せられました。

ワークショップを通じて、地域の方々が日本の伝統文化に親しみ、次世代へとつなぐ貴重な機会となりました。

教育・心理学部 事務長 岡野 真也



箔ばさみを使う子どもを見守る学生



砂子の説明をする松下教授

講演

# 一万人の犯罪者分析から学ぶ攻める防犯という考え方 — よかれと思つての落とし穴 — こどもを呪う言葉・救う言葉



## 犯罪心理学者 講師 出口 保行 氏

1985 年大学院修了と同時に、国家公務員心理職として法務省に入省。以後全国の少年鑑別所、刑務所、拘置所で犯罪者を心理学的に分析する資質鑑別に従事。心理分析した犯罪者は 1 万人を超える。その他、法務省矯正局、法務省法務大臣官房秘書課国際室勤務等を経て、2007 年法務省法務総合研究所研究部室長研究官を最後に退官し、東京未来大学こども心理学部教授に着任。2013 年からは同 学 部 長、2024 年からは副学長を務める。

現在、フジテレビ「全力脱力タイムズ」にレギュラー出演しているほか、報道番組・情報番組への TV 出演は年間 200 本を超える。2022 年に出版した「犯罪心理学者が教える子どもを呪う言葉・救う言葉」は、13 万部を超えるベストセラー。海外で翻訳出版もされている。

2023 年に出版した「犯罪心理学者は見た危ない子育て」も Amazon でベストセラー 1 位を獲得。

開催日時

2025 年

10/4

13:30 ~ 15:30 ±  
(受付 13:00 ~)

開催場所

法音寺 名古屋市昭和区駒方町 3-3

### アクセス

#### 公共交通機関をご利用の方

地下鉄鶴舞線川名駅 3 番出口より徒歩 5 分、いりなか駅 2 番出口より徒歩 7 分  
名古屋市営バス「山中」停留所より徒歩 3 分

#### 車をご利用の方

駐車場は台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



## プログラム

13:00

受付開始

13:30

昭徳会の  
紹介

14:00

講演

15:30

書籍販売・  
サイン会

書籍販売、サイン会 あります

お申込みは  
こちらから

2025 年  
9 月 30 日 (火)  
までに QR コードから  
お申し込みください。



定員になり次第、締め切らせていただきます。

主催：社会福祉法人 昭徳会

お問い合わせ先

社会福祉法人 昭徳会 法人本部事務局 福祉セミナー実行委員会  
tel : 052-831-5171 mail : seminar@syoutokukai.or.jp



## 幸せの種まき

今日一日を生きることによつて  
周りの人を少しでも  
かづけていきましよう

法華経は、自分の喜びはさておき  
まず先に相手を喜ばせ、  
相手の喜ぶ姿に自分も喜ぶという  
間接的な喜びを教えています

大乗山 法音寺

## 編集後記

信仰を持たない人々は、自分自身の価値観を頼りに日々を暮らす中で、願いごとを叶えようと「パワースポット」と呼ばれる神社に参拝することが多いように思われます。

しかし、法音寺では「良い結果を得たいと思うのなら、良い因縁となる種まきが必要ですよ」と、三徳の実行が勧められています。

貪り・怒り・愚痴に満ちた生活を見直し、人に親切を心掛け、徳を積み重ねていかなければ、良い結果を期待することはできない——という教えます。

先日、檀信徒代表者会の東西合同集会がリモートで開催され、活発な討議が行われました。（詳細は40頁をご参照ください）

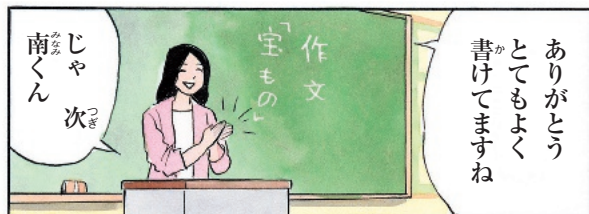
グループ討議では、それぞれの方が三徳のみ教えを日々の生活の中で実践されている様子がうかがえ、長年にわたり法音寺の信仰を続けてこられた方々の姿に、深い感銘を受けました。その背中に学び、私達も実行していかなければならないと強く感じました。

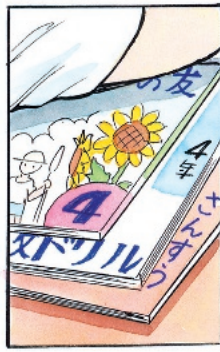
そしていつの日か、私達自身もまた、背中で模範を示せるような存在になりたいものです。



# あたりまえの宝もの

竹中 淳









紙ヒコーキを折るの  
うまかったな

ああ 今でも  
きつと飛ばしてると  
思うよ

はや  
早くよくなって  
もどつてこれれると  
いいよね

ねえ  
ひろみちゃん  
夏休みはどこか  
行くの？

北海道に  
行くよ

えっ  
北海道！  
いいなあ



お盆に  
おじいちゃんの  
お墓参りに  
行くのよ

タケルくんは？

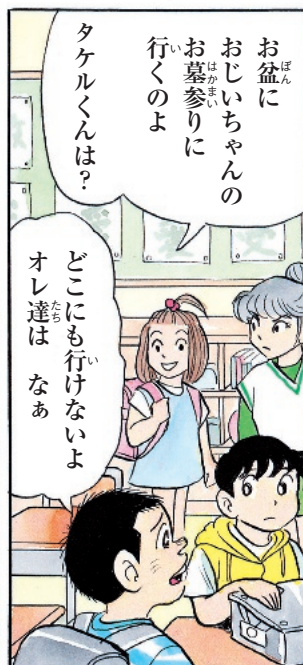
どこにも行けないよ  
オレ達は なあ

少年団の  
野球が  
あるもん

どにち  
土日は  
試合で  
ほか毎日  
練習

うわあ、  
想像しただけで  
はくの夏休み  
宿題と練習だけで  
終わっちゃう

あーやだあ







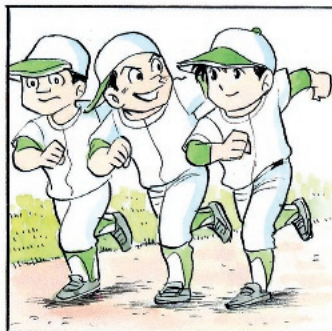
蓮くんへ はがきには  
くわしく書けなかったの  
別に手紙に書きます。  
東京の病院での手術は  
うまくいき今は郊外の  
病院に移り毎日リハビリで  
軽いストレッチなんかを  
しています。



蓮くんれんくんとタケルくんは  
今いまでも野球やきゅうをやつて  
るんだよね



いつかぼくも  
きみらといっしょに  
キャッチボール  
くらいできるよ  
うになりたいな



早くはや元氣げんきになれる  
ように好き嫌すききらいわず  
なんでも食たべるよ  
うに  
して  
いま  
す



でも病院食びやういんしょくは  
味気あじけないよ  
だつて一人ひとりで  
食たべるんだもの

あの頃あのころは机つくえを開ひらんで  
みんなで楽たのしく  
給食きゅうしょくを食たべたよね

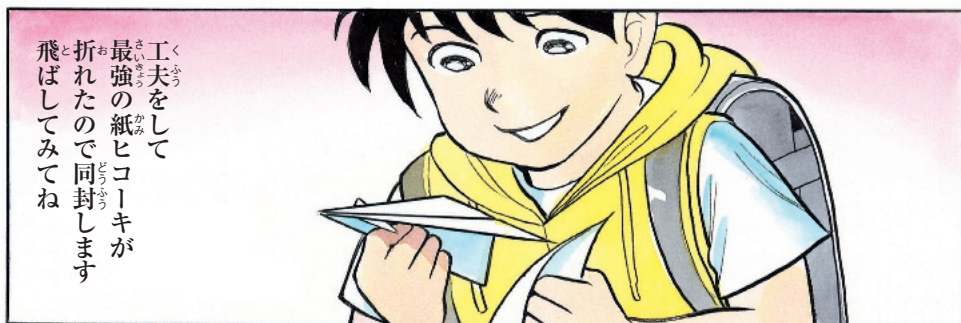


4年ねん3組くみをはなれて  
はじめてわかった



あの頃あのころのなんでもない  
毎日まいにちが ぼくにとつて  
大切な宝たからものだったんだと  
ぼくにはもう一つ  
宝たからものがあります



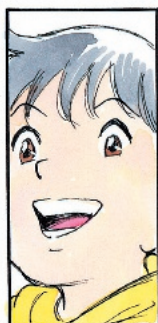
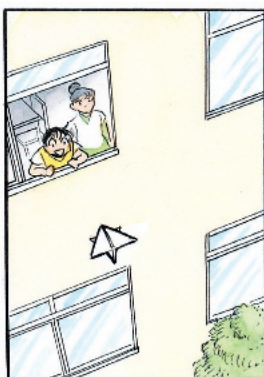




すごい  
ーい



うわあ  
もどつて  
きた!!



いま  
今 ぼくには  
たしかにそう聞こえた



はや  
早くもどれるように  
ぼく リハビリ  
がんば  
頑張るからね



ぼくにとっては  
あたりまえだったことが  
マモルくんには大事な宝ものだったんだね  
ぼく ずっと気づかなかったよ  
でも...その宝ものはちゃんと  
ぼくの毎日の中にあっただ



これ マモルくんから  
きたんだ

え...  
読んでいいの?

おしまい



# 法音寺物語

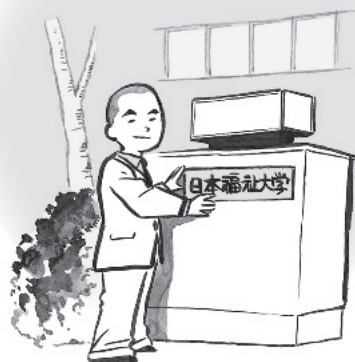
社会福祉という言葉がなかった時代…  
人々を本当の幸せにする仏教の精神で  
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、  
差別を受けたハンセン病を患った人々に  
寄り添い、様々な事情で親をなくした  
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に  
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。  
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を  
運営する中で、本当に人々を救済するには  
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、  
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・  
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を  
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に  
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。  
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、  
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、  
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





# 悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる  
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂

《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
<https://www.houonji.com> FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



### SNSでつながる法音寺



法音寺公式

**facebook**で

毎朝7時

『一日一言』

配信!!

こちらの  
二次元バーコードから  
ご覧いただけます。



毎週火曜日

**法音寺メールマガジン**  
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、  
人にやさしく生きていくための  
コツなどを配信します。

こちらの  
二次元バーコードから  
メールマガジン登録フォームを  
ご覧いただけます。



**YouTube**にて  
**法音寺チャンネル**  
開設中!!

[https://www.youtube.com/  
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらの  
二次元バーコードから  
法音寺紹介動画を  
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



### 法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保 育 所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10  
TEL.(052)831-5171  
<https://www.syoutokukai.or.jp>



#### 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6  
TEL.(0569)87-2211  
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

